



まちの話題



問 政策調整課 : 0869-22-1113

今月の表紙

cover photograph



5月3日、須恵古代館周辺(長船町西須恵)で、第16回須恵古代まつりが行われました。邑久・長船中学校吹奏楽部による演奏、美和つ子太鼓、とつかあず、名刀太鼓による太鼓演奏、瀬戸内チェリーキッズによるダンスなどが会場を盛り上げました。古代の道具を使った火おこし体験、美和の歴史と文化を知る宝探しゲーム、〇×クイズなどもあり、子どもから大人まで楽しんでいました。

ベトナム料理で国際交流 DBOC料理教室

2月26日、瀬戸内市の国際交流を推進する会「DBOC」(佐藤悦子代表)主催で料理教室が開催されました。同会は年1回、世界各地の人を招き料理教室を開いて、その国の文化を学んでいます。一昨年のトルコ料理、昨年のネパール料理に続き、今年はベトナム料理に挑戦しました。

参加した会員は、ベトナム料理を代表するゴイクン(生春巻き)とチャオ・ガー(鶏肉の雑炊)の2品について、ビドゥル・パニヤさんら講師から料理方法を学び、ベトナム文化にも理解を深めていました。また、チャー(ベトナム風ぜんざい)なども振る舞われ、舌鼓を打っていました。



講師からコツを習う会員ら(左下) / できあがったゴイクンとチャオ・ガーなど(右上)

オリジナルグッズが充実 瀬戸内市立美術館ミュージアムショップ



2種類のクリアファイル(左上) / 受付横のミュージアムショップ(右下)

瀬戸内市立美術館受付横のミュージアムショップでは、図録や絵はがき、一筆箋や美術館オリジナルのオリーブをモチーフにしたグッズなどを販売しています。開館当時に比べると、グッズの種類も少しずつ充実してきました。

3月から新たなラインナップとしてクリアファイルが加わりました。絵柄は佐竹徳画伯の「牛窓オリーブ園」と「オリーブの樹」の2種類で、1枚300円で販売しています。

常設展に加え、6月9日(木)からは童謡詩人金子みすゞ展が始まります。ご来館の際にはミュージアムショップにもぜひお立ち寄りください。

たくさんのお客でにぎわいました 備前福岡の大地



特産品や地産地消グルメなどが並ぶテント群

4月24日、長船町福岡の市場小路一帯で備前福岡の大地が開催されました。

鎌倉時代の一遍上人絵伝(国宝)に描かれた中世福岡の市を再現しようと始められ、今年で6年目を迎えます。毎月第4日曜日に行われている備前福岡の市ですが、大地は年に2回、春と秋に開かれます。

テントがずらりと並び、地元の特産品、地産地消グルメやチャリティバザーの雑貨などが飛びように売れ、開始から2時間ほどで売り切れるテントもありました。周辺は家族連れなどたくさんの人で大盛況でした。

いつまでもお元気で 森静さんが満100歳に

4月12日、満100歳を迎えた森静さん(邑久町向山)をお祝いに、西村公夫備前県民局健康福祉部健康福祉課長と武久顕也市長らがご自宅を訪問しました。森さんは、お祝い状を声を出して読み、「ありがとうございます」と、感謝の言葉を述べていました。

現在、小規模多機能ホームで週3回のデイサービスと、時々1泊のショートステイを利用しています。骨折して両足を手術していますが、杖がなくても家の中を歩くことができ、箸を上手に使って何でも食べて、元気に過ごしています。

森さん、これからも元気で過ごしてください。



お祝いの花束を持つ森さん

子どもたちが布貼り絵に挑戦 布貼り絵作家 藤田桜展(前期)

4月15～21日、瀬戸内市立美術館で布貼り絵作家藤田桜展(前期)を開催し、布地の質感や色、柄を巧みに組み合わせる表現される布貼り絵の世界に多くの方が魅了されました。後期展は8月に開催予定です。

また、17日には、作者の藤田桜さんを講師に招き、子どもたちが布貼り絵に挑戦するワークショップを開催しました。藤田さんは、ユーモアを交えながら布貼り絵の楽しさを伝え、会場内を回りながらアドバイス。チェック柄のトマトや花びらごとに色と模様が違うチューリップなど自由な発想の作品が出来上がりました。



好評だった原画展(左上) / 藤田さんにアドバイスを受ける子どもたち(右下)